



2024～2025年度 山形東ロータリークラブ会報

第1632回例会 2024年9月13日(金)

点鐘／12:30 S.A.A.／工藤 裕史

ロータリーソング／我らの生業 会場／ホテルメトロポリタン山形

Rotary
第2800地区



RIテーマ RI会長：ステファニー A アーチック
ロータリーのマジック

地区目標 ガバナー：芳賀 康雄
ロータリーにもっと誇りをそじて学び DEI の心を持って行動実践しよう

クラブテーマ 会長：深瀬 俊路 幹事：菅生 勝則
「シン・ロータリークラブ ピア・ロータリアン ハブ・ロータリー」

会長挨拶



深瀬会長挨拶

今週末には、日本一の芋煮会が開催されます。大勢の人数が予想されますが、熱中症対策には細心の注意を払った運営を望みます。

昨年は、伊藤三之PGの提唱により「最上川物語」と銘打って中山町で清掃活動と元祖芋煮が振舞われました。そこには棒鱈が入っていました。明治の文明開化の前

には肉食は一般化していなかったことを念頭に置いた具材と推測されます。

京都の芋棒に似せて、北前船により京文化と最上川舟運が結びついていることを物語りたいのではないのでしょうか。タラの漁場と言えば北海道が思い出されます。しかし、棒鱈の具材となる乾し鱈を北海道では、お酒のつまみにそのまま箸で齧るのが一般的です。手間暇かけて干物を水で戻して煮込む、あの棒鱈の食し方をかの地の人はご存知ありませんでした。同じ食材も、そこから想像される完成した姿には大きな格差があるのです。

「あの人が通った後にはぺんぺん草も生えていない」というフレーズを耳にしたことがあると思います。時代劇等で阿漕に取り立てをする強欲な商人の行状を表現しています。しかし、私たち山形人も「あの人たちが通った後にはぺんぺん草も生えていない」と言われているのです。

では、なぜそう呼ばれるのか。それは、私たちが自然の恵みである山菜料理や雑草をおいしい食材に変えてしまう、その姿を「山形人はどんな雑草も美味しい食材に調理してしまう」からです。まさに今年度のRI会長が提唱する「マジック」と言えます。

このようにひとつの言葉でも、その使い方と聞き手の基本情報により真逆の意味に受け取られる危険性があります。言葉がもつ危うさをお互い意識的に共有したいと思います。この共有がないと前向きな議論が深まりません。

今日は、当クラブのチャーターメンバーの武田正男会員に、クラブ創立記念に因んだ卓話をお願いしてあります。会員諸兄におかれては、36年の歩みに自分勝手な解釈を加えることなく、至心に傾聴していただきたいと思います。

幹事報告



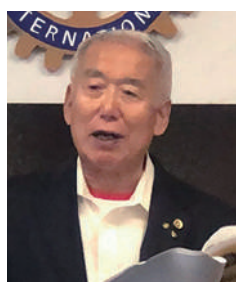
菅生幹事報告

本日の会員出席者数15名。9月度の出席率は53.6%でした。

10月度の例会は4回。10月4日は芋煮例会。10月18日はガバナー公式訪問例会となっていますので、多くの出席をお願いします。

会員各位への連絡網整備のため、携帯番号、mail アドレスの情報提供をお願いします。

アーカイブ会員卓話



武田正男会員

創立会員である武田正男会員から、初年度より10年までのアーカイブ卓話をいただきました。

荻野彰初代会長の時に幹事をさせていただき、荻野会長は親睦が大切だとの考えの方で、みんなで楽しんで、特に夜のお酒が伴った親睦会が多かったそうです。

菊地敬二会長の時に、山形東 RC 創立10周年記念事業として、フィリピン国カビテ・カウイト市に身障者用の教室寄贈のこと等が思い出としてあるとのことでした。

ニコニコBOX

荻野 武好：武田正男さん、会員卓話ありがとうございます。

白田 廣司：武田さんの卓話にニコニコ。

白田 真人：会員の皆様にいいことがありますように。

菅生 勝則：武田正男会員の卓話を歓迎して。

武田 正男：本日、卓話をさせていただきます。

深瀬 俊路：武田会員に当クラブの歴史を有意義に学んだことに感謝。

出席情報

	会員総数	出席義務会員数	出席会員数	出席率
本日	28名	—	14名	—